

小林脳神経外科病院に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2022年10月11日

「内頸動脈瘤直達手術における“Intraoperative test occlusion”を利用した虚血耐性評価に関する後方視的研究」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

| | |
|--------------|---|
| 倫理審査承認番号 | 5763 |
| 研究課題名 | 内頸動脈瘤直達手術における“Intraoperative test occlusion”を利用した虚血耐性評価に関する後方視的研究 |
| 所属(診療科等) | 脳神経外科 |
| 責任者(職名) | 小林秀企(院長) |
| 研究実施期間 | 医学部長による許可日～2027年12月31日 |
| 研究の意義、目的 | 本研究は、内頸動脈瘤直達手術における“Intraoperative test occlusion”の有効性を証明することを目的としています。本法は、術前検査として必要なバルーン閉塞試験をスキップし、術中に虚血耐性を評価できることが特徴です。内頸動脈瘤直達手術において患者負担軽減を目指し、より低侵襲で安全な手術方法の確立を目指しています。 |
| 対象となる患者さん | 2016年4月1日から2027年9月30日の期間に信州大学及び既存情報提供機関において内頸動脈瘤直達手術において“Intraoperative test occlusion”を用いた虚血耐性評価を行った方または行う方 |
| 利用する診療記録 | 年齢、性別、疾患名、臨床経過、既往歴、アレルギーの有無、腎機能を含む血液検査、術前後神経所見、動脈瘤の局在/サイズ/方向/血栓化の有無など、術前後画像、選択した手術方法、バイパス法、遮断前後のモニタリング波形 |
| 他機関への情報の提供方法 | 記録媒体に保存して手渡しにより提供します。 |
| 研究方法 | 過去の診療記録より上記の内容を収集し“Intraoperative test occlusion”を用いた虚血耐性評価の有用性について検討します。 |
| 既存情報提供機関 | 小林脳神経外科病院(責任者:小林秀企) 小林脳神経外科・神経内科病院(責任者:鳥羽泰之) |
| 研究代表者 | 主任施設の名称:信州大学 研究責任者:花岡吉亀 |
| 問い合わせ先 | 小林秀企(脳神経外科・院長) 電話:026-241-6221 |

診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報がでることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。